



会長	橋本八右衛門	青少年奉仕	正部家光彦
副会長	妻神 和憲	幹事	小田山紀暢
クラブ奉仕		会計	岡崎 孝文
会長エレクト	石橋 信雄	会場監督	鶴飼 寿栄
職業奉仕	山村 和芳	直前会長	紺野 広
社会奉仕	小井田和哉	副幹事	中村 稔彦
国際奉仕	深澤 隆	会計補佐	浜谷 英幸

例会日	毎週水曜日 12:30	例会場	八戸グランドホテル
事務所	八戸市番町14		八戸グランドホテル内
	電話 (43) 0608	FAX	(43) 0661
	e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp		
	http://hachinohe-rotary.org/		
会報・広報委員長	宮下 悟	同副委員長	峯 正一
同委員	松林 拓司	同委員	上村 奉樹

## 国際ロータリーのテーマ — 2024~25 — 八戸ロータリークラブのテーマ

### ロータリーのマジック

国際ロータリー会長 ステファニーA.アーチック

### 学ぼう、つながろう、そして一歩前へ!

～個人を磨くとクラブも輝く!再構築ロータリー～

八戸ロータリークラブ会長 橋本 八右衛門

## 2月 は 平和と紛争予防 / 紛争解決月間です

### 第3342回例会 2025.1.29

▶ ビジター 寺門寛之さん (東京後楽)

#### 寺門寛之様



東京後楽ロータリークラブから参りました寺門寛之と申します。わたしは11月にロータリークラブに入りましたが、後楽ロータリークラブは東京ドームホテルで毎週火曜日にやっていますので、きょうはメーキャップでこさせていただきました。

わたしは八戸には毎月来ています。わたしはwebマーケティングや動画マーケティング、海外のPRプレスなどの仕事をやっているの、美容室のTikTokの撮影で毎月来ています。たまたま昨日来ていて、きょうはたまたまタイミングが合いましたので、このホテルに泊まって、こちらに参加させていただいたということです。

後楽ロータリークラブは今43名会員がいます。こちらに書いてある通り「先憂後楽」がスローガンになっています。先に苦勞して後で楽しみましょう。会員メンバーは40代後半から70代と、バランスのいい会員になって

います。2月にオープン例会をやるので、そこで43名から50名まで増やしましょうということを入れてやっています。

台湾のロータリークラブとも交流をしながら、今年の3月に行き、毎年12月に親子ふれあいコンサートで、今年は東洋大学の講堂を借りて475名の地元幼稚園の方たちと一緒にやっています。4月は防災のために防災かまどの使い方を一緒にやりましょうということで、防災課、地元町会と一緒にやっていく活動をしています。

前回12月は八戸中央ロータリークラブに参加させていただきましたが、きょうはものすごい人数の皆様がいらっしゃいますので、よかったら名刺交換をさせていただいて、いろいろ勉強させていただければと思っています。きょうはよろしくお願ひします。

#### バナー交換



## 会長要件 橋本八右衛門 会長



職業奉仕月間で、先週も村井達さんから卓話をいただきました。職業奉仕にはいろいろな定義がありますが、ロータリーの他の項目と同じようにそれぞれの考え方、受け止め方がある永遠のテーマの中の一つということです。ロータリーの友の今月号にもお馴染みの四つのテストが特集されていますので、再度目を通していただければと思います。

本日資料を用意しましたが、わたしから紹介するのは「職業奉仕四つの反省」です。前年度、熊谷清一さんが同様の月間のタイミングでされた卓話の中で聞いたかと思っておりますが、恥ずかしながらそれが初めてでした。これを指標にしているクラブもあるということです。オクトンでも立派な額が販売されています。なので、四つのテストと同じような綱目なのだろうと思っています。

英語で書かれた原文を出力しました。これは「The Rotarian」という雑誌の1967年2月号から1973年12月号まで、「inside Rotary」というコラムが掲載されたそうですが、その中の1972年9月号に「職業奉仕とは何ですか?」という文章の中にあります。1972年は私が生まれたのが1971年です。当時は田中角栄さんが首相に就任、列島改造、沖縄返還、札幌冬季オリンピックなどの時代です。これを2840地区の桐生ロータリークラブの前原勝樹パストガバナーが翻訳され、それが活用されています。

その英文に目を通していただきますと、細かい項目が中段に4つほど書かれています。前段では「職業奉仕とはあなたの職業を通じて他人を助けること。職業奉仕はすべての職業人すなわち従業員、同業者、顧客、供給者、相互関係の基本的な要素である。あなただけがあなたの職業について職業奉仕の責任を負っている。ロータリーに入ったからにはあなたは最も高い倫理基準を掲げ、さまざまな取引きにおいてその倫理基準を守るように

心がけなければなりません。」が前段に書かれています。中段でいろいろな綱目がピックアップされていて、それを訳したのが裏面の「職業奉仕四つの反省」です。

1. 顧客に対して最上の品質、最高のサービスを提供しているか。常に正直と親切を旨としているか。
2. 従業員に対して、彼らの長所を十分認め、かつかっているか。安全で快適な職場を確保しているか。苦情に対して公正な態度で対処しているか。自ら誠実、正直、善意の手本を示しているか。
3. 競争者に対して、公正な態度で接しているか。あなたは行動をもって誠実を感銘させているか。彼らを共に事業水準の高揚に努めているか。
4. 協力者に対して、公正で友情に満ちた関係を保っているか。いつも支払いをよくしているか。

というこの4つです。なので、四つのテストもいろいろ議論がありますし、こういうのを掲げて実際にどうだろうかということを考えてみていただければと思います。

## 幹事報告 小田山紀暢 幹事



○新会員承認について

島守英樹さん（島守ダクト社長）の入会について、皆様よりご承認をいただきましたので、入会になります。例会には3月ごろからの参加になります。

○2830地区中グループIMが3月29日(土)にホテル青森であります。ご案内を本日流しますので、ご参加をお願いします。

## 委員会報告

親睦・会場委員会

田守拓己委員

・結婚記念日 赤澤栄治さん  
寺門寛之さん 毎月八戸に来ています。今日のご縁を大切にさせていただきます。



中村稔彦さん

橋本八右衛門さん  
全然案内しておりませんが2/3「立春朝搾り」出荷します。店頭で見かけたりしたらよろしくお願ひします。寺門さん今日はよろしくお願ひいたします。

夏堀礼二さん 本日は卓話宜しくお願ひ致します。  
小田山紀暢 } 夏堀さん、小林さん卓話よろしくお願ひします。  
上村奉樹さん }  
道尻誠助さん 久しぶりの例会です。ロータリー最高ですね!!  
浜谷英幸さん ニコニコデー



## 会 員 卓 話



夏堀礼二さん  
八戸市内城下で歯科医院を経営しています。普段は学会、講演、セミナーではキーノートを使ってスクリーンに映像や動画を映し出してプレゼンすることは多々ありますが、きょうは歯医者なので口だけで話をさせていただきます。

ぼくは2006年、清澤正会長、松橋道治幹事さんの時代、村上壽治先生に毎週水曜日にグランドホテルに昼飯を食べに来いということで、わかりました。何のことかあまり分からないまま、よくよく後で調べたら大変な会だということがわかって、慌ててぼくは前の週にお断りの電話をしたら、もう遅いよ。理事会を通過して入会が決まっているから、取りあえず水曜日に来いということで、もがきながら、止むを得ずこの会場に来たのを当時覚えています。

ロータリーの話をしろと言われても、それほど僕はロータリーで歴は長いのですが、名簿をみたら66人中15番目ですが、大したことをやってこなかったの、あまりロータリーの話をするようなこともなく、ただ自分の反省を含めて、僕の生い立ちも話してみたいと思います。

僕は1961年に八戸で生まれました。実はロータリーメンバーの一松堂種市先生の種市良意さんのお父さん良英先生に取り上げていただき、礼二という名前も良英先生に付けていただきました。種市良意先生のご親戚の村上壽治先生の奥様には、ぼくが子どもの頃、

赤ちゃんのころにおむつを取り替えてもらったり、礼二君におしっこかけられたと、今でも飲み会の席では言われます。そういう関係で村上先生や種市良意先生とは八戸ロータリークラブでは縁があるのかなと思います。

僕は父が次男だったので根城に住んでいました。根城中学校の校庭の端っこの辺りに家がありました。僕が4歳のときに祖母がまだ健在で、長男が家督を継げないということで、祖母が次男の父に旧福地村の苦米地に戻って来いということになりました。わたしには7才になる兄と2人の男子がいたので、長男でない父が実家に入るとということで旧福地村に4歳の時に引越し、そこで小中学時代を過ごしました。

中学時代にぼくの仲良しのお兄さんが、オートバイに乗っていて、その頃からオートバイが大好きになりました。また夜に家を抜け出して、友だちのお兄さんのバイクの後ろに乗せてもらって乗るようになりました。それが功を奏したのか、高校生になってバイクの免許を取ると、一人で走るの恥ずかしいので、集団で走ると目立たないので、夜に集団走行する（高校は違うけれど）中高の友だちと一緒に、目立たないように、音はうるさいけれども走っていました。

中学時代は感や運もよく、成績が良かったのですが、さすがに高校になると勉強をしないといけないわけです。入学時の成績、1年生のバイクの免許を取るまでの間はだいたい全体の1/5あたりにいたのですが、オートバイに乗って、夜に集団走行をするように

なってから、みるみる成績が落ちてきました。

2年生になると理系文系に分かれますが、父のいとこが日赤の副院長の金子先生（二十三日町の金子安兵衛薬店）だったので、父はお前は医者になれと昔から言っていました。ところが集団走行のお陰で、成績はともじらないが医学部に入れるような学業じゃない。2年生の秋くらいにさすがに改心し、ちょっと久しぶりに勉強をし始めました。その頃は塾に通い始め、理系180人175番まで落ちて、後ろに5人しかいない、これはやばい。でも何とか頑張って70番台に盛り返して、3年生になってクラス担任に医学部は無理だけれど歯学部くらいならなんとかなるのではということで、共通一次も受けたりして、結果何とか東京の私立と岩手医科大に入学することができました。

本当は東京に行きたかったのですが、親父に学費が高いからとてもじゃないけれど6年間東京に出すわけにはいかないから、何とか盛岡に入ってくれ。それが幸いして今、地元八戸では大学の同窓の先生方と、それも医科、歯科の先生方ともこうしてお付き合いできるようになって、今に至っています。そういう大学に入学して盛岡で6年学びました。

高校時代は何を学んだかといいますと、集団行動と年功序列を学びました。やはり先輩、目上を立てなければ集団の中では生きていきませんので、それも今の現在のロータリークラブにも生かしているのかと思っています。

大学6年生のときに父が悪性腫瘍で亡くなりました。本当は大学院に行く予定をしていましたが、母親から大学に残ってちんたら研究をしている暇があったら働いて、稼げということでそちらはキャンセルして、就職しました。クラブの先輩が何人か行っていた青森の歯科医師が30人くらいいる、結構大きくやっていて、ぼくが入る前までは東京にも診療所があったのですが、青森市に2か所、弘前市、黒石に診療所があった清藤歯科に就職しました。清藤三津郎先生は後に黒石市長になりました。

そこに就職するか、東京の大学に行きた

かったので、東京の歯科医院、種市良意先生の弟の三男坊の良厚先生はぼくの兄とも仲が良く、高校の剣道部の先輩でもあったので、そこの診療所も見学にいきました。どっちにいかすごく迷いました。今頃、種市良意先生の弟さんのところに就職していれば、きっと八戸にはいなかったのではないか。そのときもお袋にあなたは青森に行きなさいと言われました。その時はまだ親父が亡くなる前でした。卒業前年の夏くらいで、就職する契約書を書くのに保護者欄に父の印鑑が必要だったので、青森の清藤歯科に入るというので父にハンコをついてもらいました。その数か月後に父は亡くなりました。結局青森に就職しました。大学院に行こうと思っていたけれど、行けなかったし、と思いながら、開業して落ち着いて、いろいろ考えているわけです。

ぼくが開業したのは1992年（平成4年）です。6年後の1998年にはぼくの父の実家の旧福地村に分院を建てることができました。後に勤務医の先生もたくさんいたのですが、だんだんと若い先生は開業していきながら、最近の若い先生方は募集してもなかなか青森には来てくれない。研修施設になっているので、毎年のように研修医はくるのですが、なかなか八戸に就職してくれる方が見つからないまま、だんだんに今に至っています。

ずっと大学の研究室に籍を残して、最初は矯正歯科の研究室に通っていたのですが、そこで教授選があって、ぼくが支持していた当時の助教授の先生が退官され、その下にいた講師の先生と教授の下にいた講師の先生同士で教授戦が始まる。そして、教授の下にいた講師の先生が教授になる。それが、今の前副学長の三浦先生です。ぼくは反対側の先生についていたので、一緒に研究して、研究をスタートしていたのですが、結局このチームが解散になったので、学位研究はなくなり、仕事も忙しいから行かなくなった。

その間、ぼくは結構外科手術をするものから、麻酔科医の先生に手術の際に来ていただいていた、全身麻酔、静脈鎮静やらで麻

酔科の先生に来ていただいていたときに、島麻酔科の助教授がうちで研究すればいいじゃないか、学位を取ったらいいじゃないかというので行きました。研究が始まったときに一緒に共同研究者の大学院2年生の女の子がうつ病になって退学。

結局、二度が食いのチャンスを失い、いい加減やめようかと思った時に、補綴インプラント科の当時の近藤教授から呼ばれるようになって、月1回行っているうちに、一緒に研究して学位を取るようにしましょうということで、一緒にやりましょう。当時の医局員の先生と6年くらい前、その頃から月1、2回ずつ行くようになった。ちょうどぼくが興味のあった部分で何とか無事に学位を取れたのが一昨年、令和5年。取れたと思って安心して矢先に、次にバトンタッチしようと思った副院長が開業したい。あなたも開業するんですか？ 結局、ぼく一人になってしまいました。

その上に、八戸に帰ってくるだろうなと頼みにしていた息子も昨年、港区白金高輪で開業しました。開業といっても銀行の融資が受けられず、青銀にお願いして、ぼくのクリニックの法人の分院という形で開業しました。今は人でも足りないですし、福地村の分院の先生1人とぼくと息子で各店舗に一人ずつということでやっています。本当に人生、山あり谷ありで、最近はずっと下り坂で、今後終活に向けていろいろ考えています。もし登り坂があったら、もう一回登ってみたいなとも思っています。その時にはロータリーの皆様よろしくご指導のほどお願いします。

#### 小林幹夫さん



わたしも簡単な自己紹介、ロータリーの話、気になっている話をしようと思っています。わたしは1972年生まれの52才、八戸で生まれ育ちました。同い年には今話題の中居君がいます。八戸ロータリーでは中村稔彦さん、小倉和也先生が同期で高校も同じでした。高校まで八戸

にいて、大学は北海道の小樽の大学に入りました。この辺から北海道、小樽に行く人はなかなかいない、逆に言うと北海道の人にとっても青森の人は珍しい。

わたしのあだ名は何だと思います？ 八戸出身だから“はっち”です。俺の名前はどこに行っただというくらいのあだ名で大学4年間はっち、はっちと呼ばれてきました。取り敢えず返事はしてきました。

大学に入って1、2年生のときは遊びとアルバイトに明け暮れました。朝10時に大学に行って、10時半には雀荘に行き、翌朝6時まで雀荘にいて、というような生活をしていました。アルバイトもいろいろやりました。一番記憶に残っているのは、北海道の札幌で2月に雪まつりがありますが、そこで露店の手伝い。簡単に言うとブロックにボールを投げたら倒れた数だけ景品をあげる、みたいな比較的単純な露店でした。それを1週間くらいバイトをして、全部終わったときに露店のお兄さんがアルバイト料をあげるからちょっと来いそのお兄さんについて行ったすすきの繁華街から一本横に入った雑居ビルの3階。登っていくと、いかついお兄さんがいて、壁を見ると立派な家紋みたいなものあって、さすがにやばいと思いましたが、そこでよく頑張ったと言って5万円もらったのがすごい記憶にあります。今じゃできない話です。今から30数年前の話です。そういった形で大学生活を過ごしました。

大学に入っているときから公認会計士になりたいと思っていましたが、北海道はちょっとなかなか合格できず、父に頼んで何とか東京で勉強させてくれということで、東京の水道橋にある大原簿記学校に行き勉強して、何とか合格しました。

その後、2002年に仙台に移り住んで、そこで監査法人という会計士がいっぱいいるような会社に行き、監査の勉強をさせてもらい、2007年自分が35才のときに八戸に戻ってきました。戻ってきたときに、うちの父が会計事務所をやっていたので、そこに入ったような形になっています。

実はうちの父もロータリアンで八戸中央ロータリーにいます。チャーターメンバーです。うちの事務所は今は第一会計税理士法人という名称で仕事をしていますが、創業自体は1957年（昭和32年）、当時、青森県で数人しかいないと言われる公認会計士の石亀忠さんが作った事務所です。わたしで4代目の所長になりますので、市内の会計事務所の枠で考えるとけっこう歴史がある会社になっています。

2007年に八戸に帰ってきたものの、前に住んでいた仙台との引継ぎなどもあって、けっこう1年間は仙台と八戸の往復のような状況です。1年間ほとんど八戸にいなかったのですが、2008年自分が36才のときに八戸ロータリーに入会することになりました。すごく若いと思いませんか？今の小田山幹事よりも若い感じで入会させていただきました。

その時の推薦者は吉田産業社長の吉田誠夫さんのお父さんの吉田昌平さんでした。これも縁があって、吉田昌平さんは今から40年前の八戸ロータリークラブが30周年のとき、昭和60年に特別代表となって八戸中央ロータリークラブを設立しましたが、そのときのチャーターメンバーの一人がうちの父だということもあり、自分が八戸ロータリークラブに入るときには吉田昌平さんのスポンサーで入るという形で、わたし以外の方が動いていたと思います。

その時の名簿を久しぶりにめくってみました。その当時の会員は73人。入会順に名簿の名前がありますが、一番上は南部恭秀さん、石橋昭雄さん（信雄さんの御尊父）、浅水逸郎さん、前原義一さん（俊彦さんの御尊父）、吉田昌平さんなど錚々たるメンバーがいました。わたしは一番最後に入会しましたが、自分の名前の周辺には1つ上の先輩に東北電力の熊坂さん、1つ下に三八五タクシーの安藤孝さんがいらっしゃいました。地代所久恭さんとほぼ同じ時代に入会しています。1年先輩は夏堀礼二さんと妻神和憲さん。今年の名簿を見ると夏堀さんは16番目、わたしは17番目でけっこう古株だなという気がしています。

毎年皆さんに配られていると思いますが、これを見るとけっこう1年間を思い出すいい機会かなと思います。

ロータリーに入って、そのときは一番若かったので、会場親睦委員をやりながら、でもそういいながらも2012年にいきなり、地区の仕事をしろということで、2830地区ロータリーアクトの委員会に入って、ロータリーアクト地区委員長まで3年くらいやりました。たぶん、若くて当時のロータリーアクトに一番近い年齢だからということになります。

ロータリーアクト委員長をやりながらも、今までずっとやってきたのはポリオワクチン投与です。インドにも5回くらい行きましたし、去年はパキスタンにも行きました。そのきっかけは、入会してすぐの地区大会の飲み会の席に、十和田東クラブの白山春男さんという方がたまたまわたしの隣に座って、せっかくロータリーに入ったのだからインドに行こうよ、みたいな変な誘いを受けました。

ロータリーは“はい”しか言っていけないと聞いていたので、分かりました、行きます。返事をした3か月後にはポリオワクチン投与のためにインドにいました。元々ロータリーに入ったのだからお昼ご飯を食べるのは、それはそれで楽しいのだけれども、八戸以外の人、県内の人、日本の全国の人、世界の人に会うことができるチャンスがあるのだらうなどは思っていたので、そこは渡りに船という形でポリオには参加させていただきました。

なぜわたしがポリオの活動をやっているかということ、ポリオは病気なので、どうしてもお医者さんがいろいろ説明をしてくれますが、医師でない一般の人間でもこういう活動ができるんだよということを皆さんに知っていただくために、自分が行って、その体験談を話してということをやっている次第です。

最近ちょっと気になっていることは、今回の年末年始の休みが9連休とちょっと長かったので、わたしも珍しく書籍を読もうと思って、年末に三冊かの本を買いました。その中の1冊に“言語力を高めよう”という言葉が

ありましたので、これはいい言葉だと思いました。

わたしの職業は公認会計士、税理士ですが、別に机に向かって会計ソフトに入力したり、税金を計算するのが本筋の仕事ではなく、どちらかというところ経営者であるとか経理担当の方の質問に答えたり、あるいは悩み事に答えるのが仕事だと思っています。聞かれたのに答えるのだけれど、それは決して正しいとは限らない。正しく伝えることが正しいわけじゃなくて、聞いている方がわかるような言葉で相手の方に理解してもらうことが一番大事だろうなと思っています。

この辺はどんな職業でもそうだろうと思いつつも、一応わたしはもともと意識はしていたので、そのためにはどうすればいいかなというところで、“言語力”という言葉が出てきましたので、その本を読み始めました。

皆さんが何かを誰かに伝える、あるいは文章として伝えるときに、どういうふうな頭のプロセスかというところ、たぶん頭の中にさまざまな自分たちの経験などで培ったことば、語彙がまず浮かぶ。語彙やことばだけだとボヤッとしているので、そこを具体化していく。5W3Hで具体化して行って、それをことばにしていく、文章にしていくという3つのプロセスを経て何かを伝えているだろうと思います。

トータルして言語力という言い方をするといいです。3段階あって①語彙力を伸ばす、②語彙を用いて具体化する。③最後にそれをどうやって伝えるか。わたしは特に1段階の語彙力を大事にしています。若い人は喜怒哀楽をすべて“やばい”ということばで済ませたりするケースがあります。確かに悪くないんだけど、その場所にそぐわない、1つのことばでしゃべれると薄っぺらさがある。なので、自分たちもメールを打つ時に、「昨日は楽しかったです。」という言葉。でも“楽しい”とメールで打つのはちょっとおかしいとなると、楽しいに近いことば

を頭の中で整理します。

でも、なかなか普段本を読んでいない、あるいは加齢のせいなのか言葉が浮かんでこない。今どうするか？ヤフーなどでググルわけです。楽しい類義語とやるといっぱい出て来るので、その中から場所にそぐったことばを選んでいく。あるいは最近まっているのがチャットGPTで会話をする。ぼくは楽しいと思っているけれども、もう少しいろんなことばがあったら教えてください。それで連想ゲームをしましょう。そういうことで語彙力を高めようかと思っています。

ただ語彙力もインプットだけでなく、アウトプットすることが大事だよ。ということも前提に、1分間だけ皆さんと考えたいことがあります。

仮に皆さんが八戸ロータリークラブの会員を増やしたい、広報したい。「八戸ロータリークラブ」ということばをもって連想することば、単語、語彙を数十秒でいいので考えていただきたいです。当然正解はありません。八戸ロータリークラブと言ったらこうだよ。ああだよ。

この間、うちの事務所でこんなことをやったら、ラインワークスでどんどん自分が思ったことを打ってもらったら、けっこうババババといろんなことばが出てきます。そういうことをやったらちょっと楽しいと思っています。

八戸ロータリークラブと云ったら、例えば、いろんな人と会える、八戸グランドホテル、お酒を飲むなど、さっき言ったように、この言葉を頭の中に入れるだけでなく、アウトプットすることが大事らしいです。しかもそれは30分以内。そうすると自分のものになるよ、という書き方をしています。従って、ぜひこの例会が終わった後に、皆さんが今八戸ロータリークラブから浮かんだことばを使って、誰かに伝えてあげるといふようなことをしていただければと思っています。

出席報告					出席委員会	
第3342回例会（1月29日）			第3340回例会（1月15日）			
出席率		57.8%	出席率		100%	修正出席率 %
総会員数		66名	出席数	総会員数		名
			37名			名
出席義務会員	出席免除会員	欠席数	出席義務会員	出席免除会員	名	
64名	2名	27名	名	名	欠席数 名	